

# 令和2年度版 多忙化改善計画

甲府市立東中学校

<p>1. 会議等の効率化</p> <p>① ペーパーレス会議と提案方法のさらなる改善を図り、統合型校務支援システムの機能を研修して、それを活用して会議時間の短縮と効率的な意見集約の工夫を行う。</p> <p>② 学年会議や分掌ごとの打合せ等にも校務支援システムの活用を工夫し、会議回数の削減を図る。</p>
<p>2. 学校行事の負担軽減</p> <p>① 必要不可欠な行事の実施を優先しながら、優先順位の低いものについて延期または中止を検討する。地域行事への参加体制、PTA行事の見直し等を積極的に検討する。</p> <p>② 中止や内容変更する行事は今後の必要性や次年度の実施の有無について再検討する。</p>
<p>3. 校内組織の見直し</p> <p>① 分掌の責任者が業務内容を整理し、分掌内で係分担を行って、負担を分配する。管理職が助言を行い、業務改善を図る。</p> <p>② 生徒数減に伴う教職員減を見通した分掌（組織）の再編成の必要性について検討する。</p>
<p>4. 業務の効率化</p> <p>① 立番指導場所と人数を精選し当番制を確立して、全員で行う機会を減らす中で、生徒の安全を確保する方策を実施する。</p> <p>② 各業務内容の見える化を図り、業務分担の平均化と効率化を検討していく。</p>
<p>5. 部活動の負担軽減</p> <p>① 部活動ガイドラインの遵守を徹底し、週2日の休養日の設定、複数顧問の配置、部活動指導員や外部指導者の活用を積極的に行う。</p> <p>② 科学的トレーニングや効率的な指導法の確立を図る。</p>
<p>6. 地域人材の活用</p> <p>① 朝夕の交通立番指導での地域人材やPTAの活用を推進する。また、警察や安協等の公的な人材の協力も継続してお願いする。</p> <p>② 小中連携の中で、登下校指導に地域の協力を得られる方策を小学校とともに検討する。</p>
<p>7. 「きずなの日」の時程変更</p> <p>① 当日の時程を変更し、昼休み清掃や昼学活など6校時後の生徒の活動を減らすことで下校時間を早め、生徒とふれ合う時間を確保する。定時退勤の意識を高め、互いに実施への協力を行う。</p> <p>② 本取組を参考に平常日における工夫への展開を検討する。</p>